

堺南御坊

2006年4月号

第296号

東本願寺堺南御坊

〒590-0944(難波別院堺支院)

堺市堺区櫛屋町東四丁一一一九

電話〇七一-二三八一五三九

すべてがみな因と縁

モミ種(因)・原因は

土・水・肥料・太陽の光

熱などの条件(縁)が働

かないと発芽・結実しま

せん。

モミ種から白米を得る

までに八十八の手間ひま

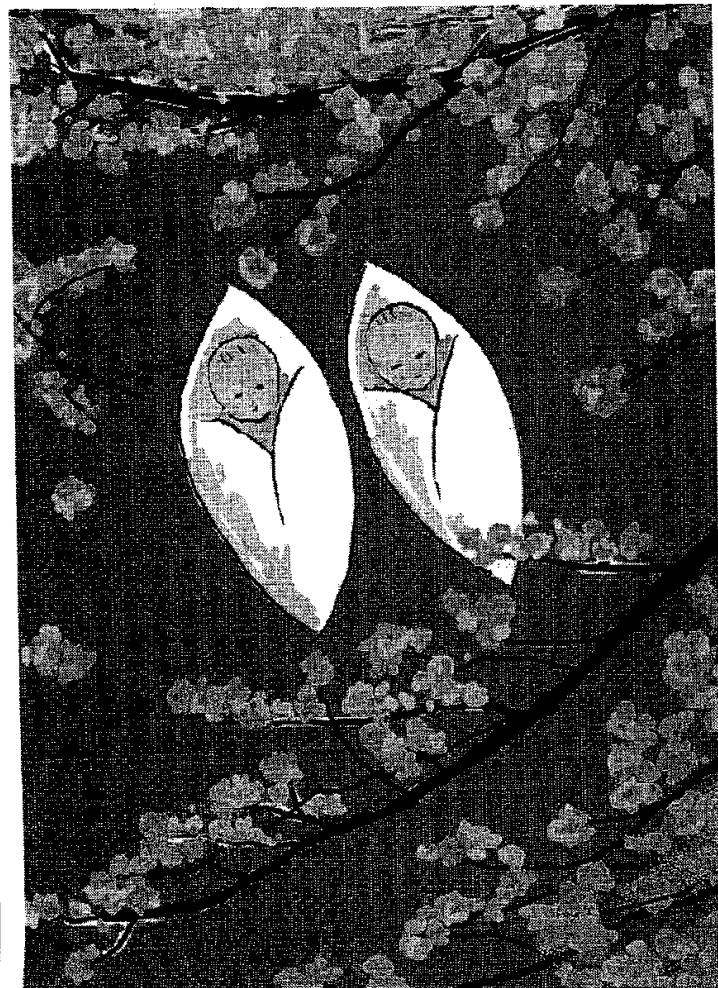
(労力と時間)がかかる

くのだそうです。

人間が手間をかけて稻
を育てても、雨不足・冷
夏・台風などの災害によ
て不作となります。

しかし、自然の恵みの
『お陰』で豊作となるた
め、昔から『豊年満作を
神に感謝し・来年の豊作
を願う秋祭り』が行われ
るのです。

お陰さま



陰になつていて、今は
何も見えないが、人々の
働きかけで、この事実が
成り立つているのを感じ
て『ありがたい』と思つ
て言う『お陰さま』は、
仏教が説く『恩の思想』
から生まれた言葉です。

『頂き』とは頭の上を
言い、それに頭を下げ・
拝んで食べることを『頂
く』といふのです。

朝ご飯を炊くと、最初

習慣は、自然の恵みなど
宇宙一切の他力により毎
日、生かされて生きてい
ることへの報恩感謝の気
持ちを表わしたものなの

なもつて世々生々(生
まれ変わり死に変わりし
ている間)の父母兄弟な
り(歎異抄)があります。
『遠い遠い過去からの

『いのちに目覚めて』(上)

能岡 浄(堺市・願成寺住職)

に仏飯を仏壇に備えた後

『(生き物の尊い命)を

頂きます』と、合掌して

から食事をする仏教徒の
でしょう。

無数の生き物が、私の祖
先(父母兄弟)の意味
で、人類は何万年も前か
ら、大地の山や川や海の

親鸞聖人のおことばに

『一切の有情(心を持つ
た全ての生き物)は、み

無数の生き物の命と、その栄養成分を頂いて来ました。

私たちの生命の誕生

地球上に初めて生き物（1個の細胞の細菌類）が誕生したのは、今から約40億年前の原始の海でした。最初の脊椎動物は魚類です。

母体内の羊水の中で、胎児が育っていく過程には、地球上に生物が誕生し・進化した歴史を見ることがあります。

1個の細胞の受精卵が分裂し続けて4週目の胎児（大きさ5mmで10mg）にエラ状の裂け目や尾が認められるのは、魚類から進化した証拠で、他の哺乳動物の発生時でも見られ、人間も他の動物も祖先は同じ魚類だったと言えます。

出産した胎児の体は、成人と同じ約60兆個の細胞からできています。1秒間に1個数えるとするところ190万年以上もかかる数が60兆個であり、人体には形・大きさ・働きが違う約百種類の細胞が集まって組織を作り、その組織が集まり心臓などの器官を形成しています。また、人体の血液や骨

などは、太古の海水と同じ成分を含んでおり、現在も海水を体内に保持しています。

だから食塩のとり過ぎやカルシウム不足になるとすると、体調が崩れてしまうのです。

生かされている私

私の『いのち』が母親の胎内に宿った時から今日まで、1日もかかず無数の生き物の命を頂いて成長してきました。

だから、私の『いのち』は「大地と宇宙の『いのち』」そのもの」と言えるではないでしょうか。この事実を見失って『我が家』を張り日々、不平・不満を言つて暮らしている私です。

どれほど物が豊富にあり、生活環境に恵まれていても、『いのち』の不安を抱え、不平・不満の心でお互いに争い、グチっているだけなら、暗闇の中をうごめく生き物のようなものです。

智慧を掲げて

人間の眼は、外を見るようになっているため、自分を見失い『我が身よければ全て良し』と自分

中心に外を見るのが人間の本能なのでしょう。

仏教説話に『広さまる人

数も全く同じ浴場がある。

地獄の浴場では、隣の人と体が接触したなどと怒鳴り合う声がする。極楽の浴場からは、お互いに背中を洗いながら楽しい会話や笑い声が聞こえてくる』とあります。

また、仏教に『無財の七施（お金が無い者にも7つぐらいは施しができる）の言葉があります。例えば、ほほ笑んで人に優しい言葉をかける・

新学期が始まりました。厳しい入学試験を突破した新しい学生さんが、次々に大学の門に入っています。

仏教では、学生は「ガ

クショウ」と読み、学匠とも書きます。

もとは寺院に奇寓し、仏教以外の学問を学ぶ者に名づけられたようですが、日本仏教界では、仏教を学ぶ者に用いています。

比叡山を開いた伝教大

師は、山内で学問をする学生たちの学則ともいえる『山家学生式』を著わ

していません。

比叡山の衆徒は、学生である大衆とする堂衆とに分かれています。

親鸞聖人は堂僧であつたと伝えられています。常行堂に奉仕しながら、常行三昧を修める不断念佛僧だつたようです。

いずれにしても、学生とは学問に従事する生徒のことですから、しっかりと学問してくださいよ。

生活の中の佛教語 がくせい 生

真言宗の金剛業

学生、胎藏業学生や、海

を渡って大陸に学ぶ人を

留学生、学んで帰国した人を還学生という具合で

学者も学徒も、もともと